

■令和6年度 市民協働研修(体験研修)アンケート集計結果

資料 2 - 2

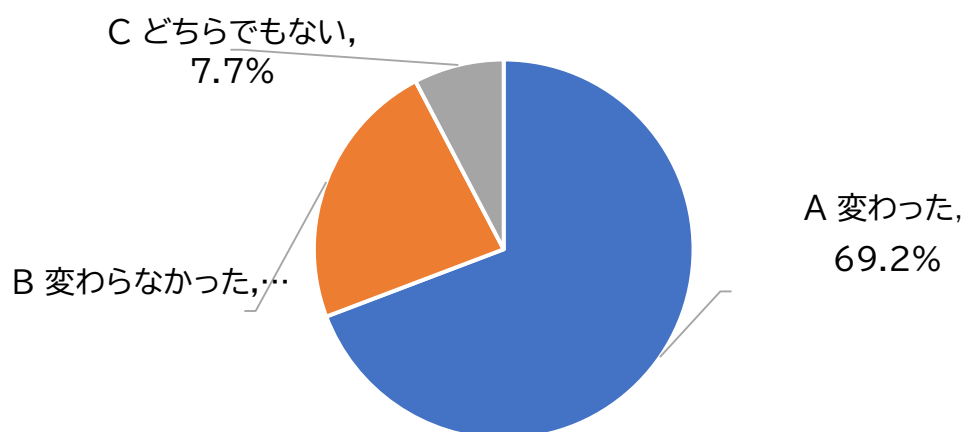
《調査概要》

回答期間: 令和7年2月3日～令和7年2月14日
回答方法: e-KANAGAWAにて回答
回答対象: 市民協働研修(体験研修)の受講者
対象者数: 20 回答者数: 13人 回答率: 65%

n = 13

【問1】この研修を受ける前と受けた後で、あなたの『市民活動や市民活動団体』に対する考え方は変わりましたか。

A 変わった	9	69.2%
B 変わらなかった	3	23.1%
C どちらでもない	1	7.7%



【A 変わった】

市の業務ではなく市民の方の活動だからこそ出来ることもあり、より市民の方のニーズを把握し今必要としていることを様々な視点から取り組んでいると感じました。実際にお話をする中で職員の方が熱心に活動されていることを実感し感激しました。

今までは、市民活動や市民活動団体について、「市民が公益的な目的を持って自主的に行う活動」であることや、「行政や企業だけでは解決できない問題に対して、主体となって行動する団体」であるというような表面的な知識しかなく、自分とは遠い存在であるという考えであったが、研修を通して、行政とのつながりや協働について学ぶことで、もっと身近な存在であるという考えに変化した。

知識としては市民活動のことは知っていましたが、恥ずかしながら、どこか他人事のように捉えていました。しかし、今回の研修を通じて、行政が行き届いていないところをフォローしてくださっている、そして地域のために活動してくださっていることを知り、行政に携わるものとして、もっとその活動を知らなければいけないし、その活動を市民に伝えていかなければいけないと感じました。

市民活動や市民活動団体と聞いた時、どのようなものかピンと来ておらずイメージができていませんでした。
なので実際に体験して、具体的な活動の雰囲気や、過去あった事象のお話を聞いて、市役所では手が回らない部分が多くあると感じました。そして市民活動や市民活動団体の必要性を強く感じるようになりました。

行政だけでは難しい部分などを市民団体の活動により補ってもらえたり、市の問題点についてより研究し、問題の解決に向けて活動されていて、市民団体の力があることにより、行政だけでは難しい問題にも相互に協力し解決に向けて取り組んでいるんだと感ずることができました。
市民団体の活動などを知る機会がなかったためとても良い経験になりました。

市民活動について、言葉としては理解していたが、どれくらいの頻度で、何の目的で、何をしているか、その場面や労力等の具体的なイメージができていなかったが、実際に体験することで一部だが身をもって理解することができた。
金銭的な利益ではない対価のため(自然の保全や、過ごしやすい環境、自然と触れ合う体験等)に、時間と労力をかけている市民の方々がいらっしゃることに感銘を受けた。

【B 変わらなかった】

前職で市民団体と協働で事業を行った数回経験があったので、考え方の変化はなかったため。

活動の原動力となる熱い想いを身近に感じる事ができた。

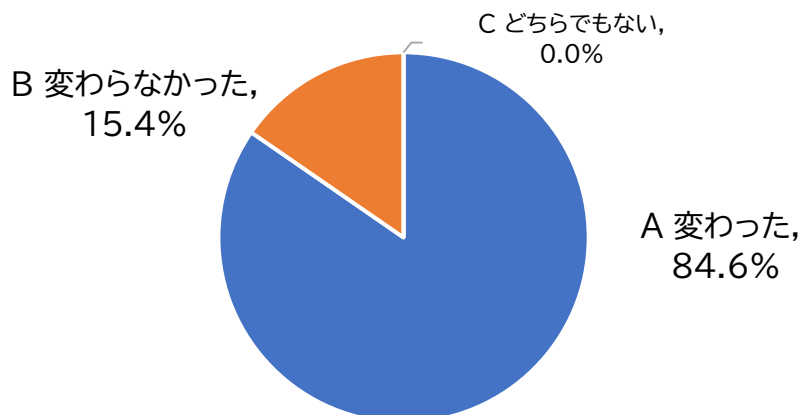
イメージしている市民活動団体と変わらなかった。

【C どちらでもない】

私自身市民活動団体を運営しており団体間同士の連携が弱いと感じているが、改めて同じ印象を感じた。
市内のバラバラの活動をマネジメントして、地域全体としてあらゆる活動が相乗効果として高めあえるような舵取りを行政が担っていく必要があると思う。

【問2】 この研修を受ける前と受けた後で、あなたの『協働』に対する考え方は変わりましたか。

A 変わった	11	84.6%
B 変わらなかった	2	15.4%
C どちらでもない	0	0.0%



【A 変わった】

今までは協働に、始めるハードルの高さを感じていましたが、実際に体験してみると、協働は身近に行われていることだということを実感しました。

協働するためにはまずは互いのことをよく知り意見を伝え合える関係が必要だと感じました。しかしそれは時間も労力もかかることであり、それぞれ違った労働環境の中で簡単にできることではないと思います。相手を「知る」という協働の第一歩を踏み出せるような環境作りが職場全体に必要なと感じました。

役所の仕事のスピードを理解したうえで、役所に働きかけ、協働していただいており、申し訳なくなった。

市だけで活動をするには人が足りなく、市民個人だけで活動するには障害が多いため、『協働』であれば出来ることが増えると思いました。

自分の業務上の課題を解決するためにいろいろな方法を考えますが、「協働」という選択肢は今までありませんでした。今回の研修をとおして、自分の業務でも何か協働で解決できることがないか、考えるきっかけになりました。

研修を受ける前は、協働は単に情報共有や業務の分担といった表面的な取り組みだと思っていました。ですが、実際に体験したことで、相互の信頼関係や共通の目標への意識が重要であることに気がきました。「市民活動や市民活動団体だけ」や「市役所だけ」では、費用や業務量などの観点から出来ないことが多くありますが、協働という形で協力することで、お互いに行えること・できないことをサポートし活動ができると知りました。

『協働』として、同じ目的や目標をもって主体的に活動に関わっている市民・職員が少ないことに課題を感じた。
結果として、今回参加させていただいた活動は仕事をリタイアした70歳以上の方しかメンバーにおらず、
『協働』に関わっている層が限定的であることにより、市内のあらゆる活動の持続力が低下している印象を持った。

【B 変わらなかった】

前職で市民団体と協働で事業を行った数回経験があったので、その時のいくつか担当した団体様との協働事業を通じて、「協働」に対する考え方の変化はなかったため。

協働について、「市民、行政、NPO及び企業が、それぞれの役割や特性を理解するとともに、相互に尊重、補完し、対等な立場で、それぞれの持つ力を発揮して、課題の解決に取り組むこと」ということを事前の研修にて学習したため。いい意味で、協働に対する考え方に相違がないと感じたから。

【問3】体験研修を通じて、市民活動や市民活動団体についてどう思いましたか

体験研修を通じて、団体の方々ご本人たちが生き生きと活動されているだけでなく、関わったお客様たちも会話を通じて笑顔になっていくことが印象的でした。
活動によって、障がいのある方や引きこもりの方の自立支援だけでなく、地域の方々を活気づける役割も担っているのだと感じました。

職員の方が市民活動を始めた経緯や活動の目的を知ることができた貴重な研修でした。
市民活動だからこそ、常に市民の方の目線に立ってニーズを把握し、問題一つひとつに丁寧に取り組んでくださっている印象を受けました。困っている人の声はなかなか大勢の人には届かない中で、その声を拾って行動を起こせる職員の方の熱意に感激しました。そういった熱心な市民活動のおかげで助けられている方はたくさんいるのだと思います。私は市職員として何ができるのだろうか、と考える機会になりました。また、考えるだけではなく行動に移せる行動力を持っていきたいと思いました。職員の方はもっと市と協働していきたい、もっと興味を持って現状を知ってもらいたいというお話をしていました。そういった機会を作ることはなかなか難しいと思いますが、私たち市職員も相手のことを知り一緒に良いまちづくりをしていきたいと考えている熱意が伝わるように業務に取り組んでいきたいと思いました。

協働している団体は、市をよりよくしようと実際に行動してくださっている方々なので、その方々の想いにこたえられるような仕事をしていきたい。

市役所とともに活動していることを強く感じた。ただのボランティアではなく、協働として考えていく必要があると思った。

団体は非常の思いや熱量を持った人たちであり、地域に対する愛着がその根本にあることを感じた。市職員が同様に地域に愛着を持っているのか、疑問に感じた。
仕事して対価をもらっている分、ボランティアの活動団体以上に愛着を持っていることが職員にも必要だと思う。

【問4】今回の体験研修について、改善点やお気づきの点があれば記載ください

講義を受講するだけでなく、その後体験研修があることで、市民活動や協働を身近に感じることであったと思います。
体験先を選ぶにあたって、各団体のどのような活動を体験できるのかイメージがつきにくいものもあったので、写真や詳細な説明をいただけると選びやすくて良いと思います。

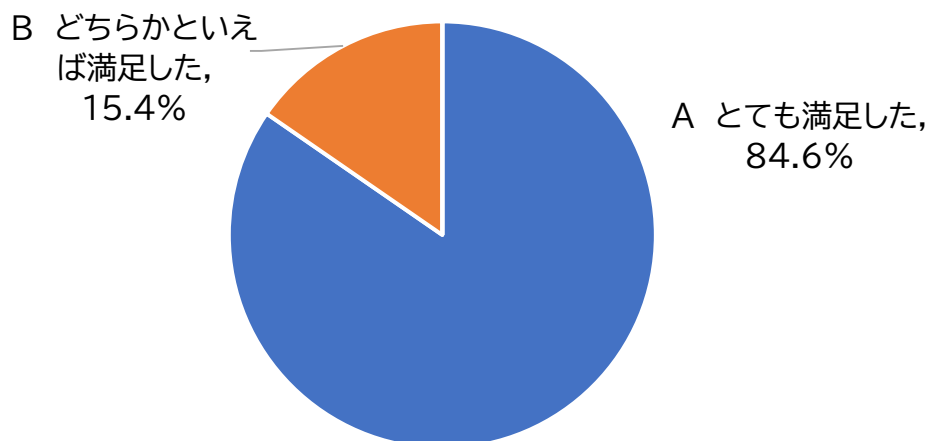
・市への想いを持っている方に接するのは早い方がいいと思うので、2級昇任者を対象とするのではなく新規採用時に実施した方が良いのではないかと。
・1日だけでは団体の方々と十分に交流することができないので例えば1週間継続して体験できると思う。

座学の中で活動団体の方から直接お話を伺ってみたいです。
また研修受講者のグループで継続的(1年間など)に協働について話し合い、実際に事業として形になるものがあれば、より有意義な研修になると思います。

特になし。後輩も受けてほしいと思う研修だった。

【問5】体験研修に参加してみて、全体を通じての満足度を教えてください。

A とても満足した	11	84.6%
B どちらかといえば満足した	2	15.4%
C どちらかといえば満足できなかった	0	0.0%
D 全く満足できなかった	0	0.0%



【A とても満足した】

市民活動団体の方と接する機会は、普段の業務の中では少ないので、体験研修に参加し実際にお話ししたり活動に参加することが出来るのは貴重な機会でした。

体験先の団体のみなさまもあたたかく迎えてくださり、どのような思いで活動されているのか直接伺うことができ、今後、市民活動団体の方と業務上関わる機会があれば、その時のヒントになると思います。

体験研修に参加したことで市民活動が身近に感じられたとともに自分にはなにができるのだろうと考える機会になりました。実際に話を聞き現場の様子を見ることで職員の方の熱意を肌で感じる事が出来て良かったです。

自分の仕事に関係のある団体での活動に参加でき、市民目線での協働を体験できたから。

【B どちらかといえば満足した】

大変ためになったが、お一人お一人とお話しする時間がなかったのは残念だった。

【問6】体験研修そのものや、体験団体・活動に対しての感想

体験先の団体の方々があたたかく迎え入れてくださり、市民活動や協働について実際に経験できる貴重な機会でした。今まで、市民活動団体の方々と関わる機会が少なく、参加することにはハードルの高さのようなものを感じていた部分もありましたが、実際に体験させていただくことで、思っていたよりも身近なものなのだと理解できました。

体験中は、団体の方々ご本人たちが生き生きと楽しそうに活動されていらっしゃることや、活動を通じて関わったお客様も、会話などコミュニケーションをとることで笑顔になって帰って行かれるのが特に印象的で、これは体験しなければなかなか気づくことのできなかったことだと思います。

地域の方々との繋がりや資源をととても大切にされていること、また当事者目線での支援をととても丁寧に考えていらっしゃる団体様だと強く感じました。

また、子どもたちがどんな過ごし方をしてもいいという自由さや「どんな自分でいてもいい」という安心感を感じられて、子ども達にとって学校や自宅以外の居場所づくりをされていることに深く謝意の念を感じました。このような場所があるということを知ることができたと感じました。

お忙しい中で研修に対応くださり、本当にありがとうございました。

職員の方が市民活動を始めた経緯や活動の目的を知ることができた貴重な研修でした。お話しする中で、地域の方との繋がりや大切さ、周囲の方に活動を知ってもらい協力して頂くアプローチの工夫について学ぶことが出来ました。ありがとうございました。

実際に現場の様子を見て、施設のお子さんたちと職員の方とのあたたかい家族のような雰囲気が印象的でした。お子さんたち、その保護者の方にとっての大切な居場所なのだと感じました。

市民活動だからこそ、常に市民の方の目線に立ってニーズを把握し、問題一つひとつに丁寧に取り組んでくださっている印象を受けました。困っている人の声はなかなか大勢の人には届かない中で、その声を拾って行動を起こせる職員の方の熱意に感激しました。そういった熱心な市民活動のおかげで助けられている方はたくさんいるのだと思います。私は市職員として何が出来るのだろうか、と考える機会になりました。また、考えるだけではなく行動に移せる行動力を持っていきたいと思いました。

今回「シェアハート鎌倉」さんが活動されている東北物産展に参加させていただきました。活動に参加することで、普段の業務や研修では経験のできない、人と人とのつながりを実感することができました。また、常連のお客様に「商品を購入することで東北の支援に協力できることが嬉しい」とおっしゃる方がおり、この活動は東北と鎌倉の絆の架け橋にもなっているんだと実感しました。機会がありましたら、また活動に参加させていただきたいと思いました。

知識としては市民活動のことは知っていましたが、恥ずかしながら、どこか他人事のように捉えていました。

しかし、今回の研修を通じて、行政が行き届いていないところをフォローしてくださっている、そして地域のために活動してくださっていることを知り、行政に携わるものとして、もっとその活動を知らなければいけないし、その活動を市民に伝えていかなければいけないと感じました。

実際に現場に出て、研修させていただいたことは大変勉強になりました。

ありがとうございました。

ハイキングコースのパトロールを行っている市民団体がいることを知りませんでした。今回参加してみて、市民や観光客の命を守る活動だと知りとても大きな役割を担っていただいていることを学びました。

自分の業務に直結している団体の活動に参加した。(公園・緑地の樹木保全)ボランティア団体の方がどのように活動されているのか、現場を見たことが無かったので、とてもいい機会になった。ただ樹木を切る等の保全だけではなく、里山を守りたいという、創設者の思いを継承し、日々活動されているのを目の当たりにした。私たちの仕事もその思いと協働であるものだと強く実感しました。

貴重な経験になりました。
野村総研跡地の現状を知り、その土地がどういった課題を抱えているのかを目の当たりにして市職員であり、市民でもある立場として何か関わりたいと思うことができました。
ぜひ、改めて参加させていただきたいと思います。

行政と市民団体が相互に協力し、問題解決に向けて取り組むことが、市の問題解決にとって重要であると感じました。
市民団体の活動を知る機会がなかったので、このような体験研修の場があり、とても自分のためになったと思います。
自分の今行っている業務との関係も少しあり、演習などを通してより深く学ぶことができました。

市職員としてお恥ずかしい限りですが、市民活動について、言葉としては理解していましたが、どれくらいの頻度で、何の目的で、どんなことをしているか、その場面や労力等の具体的なイメージができていませんでした。
今回、実際に体験することでほんの一部ですが、身をもって理解することができたように思います。
金銭的な利益ではない対価のため（自然の保全や、過ごしやすい環境、自然と触れ合う体験等）に、時間と労力をかけている市民の方々がいらっしゃることに感銘を受けましたし、市職員としても同じ方向を向いて協働できれば、よりよい鎌倉に向けて相乗効果を発揮できるのではないかと感じました。
現状所属している課ではすぐに協働させていただけるか難しいところですが、今後機会がありましたら是非協働させていただけたら幸甚です。
この度は貴重な機会を頂きまして、大変ありがとうございました。